

## 第2回塩井小学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年4月19日（月）18時30分～19時30分

2 場 所 塩井コミュニティセンター ホール

3 出席者 （1）委員 16名

（2）事務局 教育指導部長 山口 玲子

学校教育課 適正規模適正配置推進主幹 森谷 純

学校教育課 課長補佐 島貫 雄一

学校教育課 主事 渡邊 亮

学校教育課 学校教育専門員 岩倉 由美

4 内 容

（1）開会

（2）あいさつ （会長）

（3）自己紹介 （委員および事務局）

（4）協議

①会議録の承認について

②統合のあり方に関する意見について

③その他

（5）第3回協議会の開催日程について

（6）閉会

（4）協議について

（会 長） 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

（会 長） 以上の説明について、質問はいかがか。

《 質問なし 》

（会 長） 次に、「統合のあり方に関する意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

（会 長） 以上の説明について、質問はいかがか。

（委 員） 通学の際、中街道は歩道がなく非常に危険である。特に冬季間については、排雪の路線にもなっており、中学生は何とか通っているが、小学生の場合は、やはり、スクールバスの検討をお願いしたい。

（事務局） 統合を進めていくにあたっては、2つ、3つと学校が合わせれば、当然、学区も広がっていくことになることから、どのように安全に通学するかは、最初に考える必要があると考えています。スクールバスを運行することを前提において、どのように運行することが適切なのかを考えて計画していきたい。ただ、小学1

年生と6年生では体格も体力も違いますし、家や学校を出てすぐ車に乗って、全く歩かないことに対する懸念も出てくると思います。今は、学校までは登校班で通っていただいていることから、どのくらい歩いてバスに乗るかという兼ね合いも考える必要も出てくると思います。そのようなことも含めて統合準備委員会で俎上に上げて検討していく予定です。

(会 長) その他、今の通学のことにしても意見をいただきたいと思います。学校側としては、どのように考えているかお話しいただきたい。

(委 員) 私が心配していたのは、通学のことでその回答は大体いただいたので、ありがたいと思います。子ども達が塩井小学校に来るまで中街道を通らないように通学路を変えたり、地域の方にご支援いただきながら安全に登下校できていますので、その状況は統合しても続けていただきたいと思っています。4年後になりますが、4年といっても意外と短いと思っていて子ども達や教職員、保護者にとっても、この4年間で大事にしたいと思っています。3つの学校の校長が毎月集まって、どのような学校にしていくか話し合い、事前に子ども達同士で交流できたらいいということで、今年度から少しずつ始めたいと思っています。統合することによって不安もありますが、教職員で子ども達、保護者の皆さんが関われる機会をつくっていくと、統合することで仲間が増えることにもなることから、前向きな気持ちで統合に向かってほしいと思っているので、少しずつ準備をしていきたいと思っています。いろいろなご意見いただきながら進んでいきたいと思っています。

(会 長) 統合に向けて3校の校長先生が月1回集まって準備を進めていきたいというお話がありましたが、これらを含めて、皆さんの方から現状の疑問など、意見を頂戴したいと思います。

(委 員) 前回いただいた資料で他地区の状況などを見させていただきました。学童保育のあり方についてや、第五中学校の方では後援会組織のあり方というようなところが意見書の中に入っていた。この会議で出されたいろいろな意見をすべて入れるような作りになると思うが、例えば、教育後援会のあり方については、教育長あての意見書というよりは、塩井、六郷、広幡でどのような教育後援会組織があるのかわからないが、それぞれの学校が集まって取り決めることが筋のような気がしている。教育長にこれをお願いしても、何か筋違いのような気もする。あまり細かいことを考えないで、まずは、いろいろな意見を出してよいのか、意見の出し方と学童保育についての方向性とか、今決まっているところがあればお知らせいただければと思う。

(事務局) 意見書にどういったところを盛り込むのかという点ですが、先に意見書の取りまとめを行った第五中学校区地元代表者協議会の場合を例に申し上げますと、まずは、委員の方々に自由にご意見を出していただくところからスタートして、出た意見の要点を書き出し、次回会議の場で、全体で確認いただきながら必要に応じて修正し、さらにご意見を出していただくといった形で進んでいきました。それらが最終的に意見書として取りまとめられたという流れになります。また、協

議の中では、五中には、地区が主体となった教育後援会があり、教育後援会の会長さんも委員として出席されていたので、地区と教育後援会でそのあり方を決めた上で関係者のみなさまにお話をしていくということでした。一方で、一中には同様の教育後援会はないということから統合したときにどうするのが良いか、統合準備委員会で話をしてもらいたいとのことで意見書に盛り込まれました。中学校での大切な活動の一つである部活動を支援していただいている後援会であることから、ぜひ検討してもらいたいということだったと思います。また、PTA組織はどの学校にも必ずあるので、統合後のPTA組織についても議論しなければならないでしょうということでも盛り込まれています。

学童保育の件についてですが、3地区連名で要望書を頂戴いたしました。統合小学校の学校施設の中にという要望を市長、教育長にいただきました。小学校の学校施設の中の一部を学童クラブとして使用する場合、その部分は学校施設ではなくなりますが、要望いただいたことについては、市の福祉部門と学校施設の施設管理を担当している教育委員会の施設管理部門との間で、どのような形で安全に施設を整備できるかの検討を始めているところになります。

(委員) 1月20日に市長、教育長、健康福祉部長に広幡、塩井、六郷の3地区の学童クラブ代表でお願いしました。統合がわかった段階で塩井、広幡としては統合になった場合、それぞれの学童クラブを解散して、改めて3地区で1つの学童クラブを作るという方向で話が進んでいました。あとは、タイムスケジュールをどうやるかということです。また、学校施設の中で学童クラブを運営していくとなると、施設は教育委員会、運営は健康福祉部のご指導をいただいて進めていくということになります。

(会長) 様々ご意見とご質問が出ましたが、内容が重複しても構いませんのでご意見等ぜひお願いしたいと思います。

(委員) お話をお伺いして市の方でも一生懸命考えていただいて進めていただいているということで本当にありがとうございます。ただ、保護者、地域の方々、皆さん前向きに考えながら、一緒にやっていくべきだなと考えているところですが、PTA会長も回り番で役員も変わります。子ども達の交流も大事ですが、保護者の交流もすごく大事だなと思っています。保護者の方々が仲良くないと、子ども達に仲良くしようとは言えないと思います。私もPTA会長として、今年度からはお酒飲みなども少しずつ解禁なるのかなって思っています。他の学校のPTA会長さんとであったり、塩井小学校PTAの中であったり、お酒も飲みながらだんだん話し合えるようになると思いますので、前向きに皆さんにも考えていただきたいと思います。

(会長) その他ございませんか。

(委員) 学童保育を今の六中の校舎内に作っていただきたいという要望を出したんですが、私が塩井で学童クラブを運営する時に、健康福祉部から言われたのは、建築基準法が、学校と、教育施設、福祉施設では、違いますということをおっしゃ

た。今回、学校の中に学童クラブを作っていただくに当たって、建築基準法的に難しいところは出てこないでしょうか。

(事務局) 施設担当の教育総務課は今日来ていないので、お答えするのは難しいですが、今まで市議会でもそういった話が出たことがあります。その際、検討する順番としては、はじめに、どういう設備をもった、どういった施設なのかというのがあって、それをどこに設けられるのか、そして、学校施設の中のここになったときに、法令上の制約、例えば、建築基準法、消防法等のチェックをして検証した上で、可能となれば、そのためにどのくらいの工事が必要になるのか、といった順番で検討していくとお答えしていたと思います。直接の担当ではないので、具体的にこれからどういう検証をしながら進めていくのかは承知していないのですが、そういう流れで確認をしながら検討をしていると思います。

(会 長) その他なんでも結構ですので、ぜひ出していただきたいと思います。

(委 員) 先ほど校長先生から３校の校長が集まって子どもの交流なども考えているという発言をいただいて本当に嬉しいなと思ったところです。学校をつくっていく責任者は校長先生ですので、校長先生方がそういう意識を持っていることはすごくありがたいと思います。子ども達は意外に順応するのも早くて、顔を合わせると、すごく仲良くなったりということもありますので、あまり子ども達のことは心配していません。むしろ、大人がどのように前向きな気持ちになっていくかということが大事なわけなんですけど、そこは、鈴木 PTA 会長の方から前向きな発言をいただき、私もかつて教員として、川西とか、高畠とか、米沢二中の統合を経験していますが、本当に大人が前向きな気持ちになって、協力してもらえるとうまくいくという経験がありますので、鈴木会長にはそうした機会を持っていただきたいなと思います。幸い、六中は、広幡、塩井、六郷、窪田で集まった学校ですので大人の方たちは、同じ年代の繋がりなどがあってその辺もうまくいくのではないかと思います。あと、そういった雰囲気の良いところをコミセンだよりとかで各地元の町内などにも情報発信していければと思っています。去年、町内会長をしていて、今、統合がこんな感じで進んでいますと予定などをお話したのですが、皆様から否定的なご意見はなくて、そうなんだというような感じで受けとめていただきましたので、そのような情報発信は大事かなと思っています。

(会 長) その他ございませんか。私の方からですが、会議が進んでいくにあたり、校名、校章、校歌とか他の中学校も含めてこれで統合になった流れなどをちょっとかいつまんでお話をお願いしたい。

(事務局) 今のご質問、校名、校章、校歌あたりが、これからどうなって、どんなふうに決まっていくかという辺りのお話でよろしいですか。

(会 長) 他の学校もそうやって統合になった事例がありますので、ぜひその辺をお聞かせ願いたい。

(事務局) 近いところで統合が進んだのは小学校で、もう少しさかのぼると南原中が二中に統合したところですが、基本的には大きな学校に一緒になるっていう形だった

ことから、例えば、南原中の場合は、3校統合の最終形として（仮称）南西中の開校を進めていきたいということで、まず、二中に統合し、教育活動を保障していこうというような流れから、南原地区の方々にもご理解いただき、第二中学校に入っていたいた形でした。関小、関根小学校についても、南原小、松川小の中に入っていたく形で統合してきたところです。第五中学校についても、最終形として（仮称）東中を開校する前段として、はじめに第五中学校が第一中学校と統合するという形で進んでいます。また、この4月の統合についても西部小学校に三沢東部小、三沢西部小が統合した形になります。

新しい校名を考えるという作業は、一番早いところでは、令和8年度の二中与三中が統合する（仮称）南西中学校、四中と六中が統合する（仮称）北中の開校に向けて取り組むことになります。そして、令和9年度の統合小学校の開校に向けても同様に取り組んでいくことになります。新しい学校の校名については、公募する方向で準備をしていこうと思っております。第1回会議のご質問にも校名をどうするのかといったお話がありましたが、校名についてその決め方などについても意見書の中に意見として盛り込んでいただいても構いませんというようなお答えをさせていただきました。意見書の中にその思いを盛り込んでいただくことも可能だと思っています。

（会 長） その他ありませんか。

（委 員） 塩井ファイヤーアスリートクラブが、学校が統合した後にどういうふうになるのか。冬のクロスカントリー、夏の陸上競技であったり、子ども達の健全育成、体育の向上に素晴らしい実績をあげているということもあるので、ぜひ残していただきたい。オープンな形で入ってもらうことは可能だと思うので、ぜひ継続してもらいたいと思いますが、何か取り組み方や考え方を持っているか聞きたい。

（事務局） 塩井地区のこの取組については、市内の先陣を切って学校だけではなく、地域あげて子ども達を育てていただいている。そして、目覚ましい活躍があったと思っております。統合の後、どんな形で地域の皆さんに関わっていただいて子ども達の運動面を伸ばしていただけるかというところは、ご相談させていただきたいと思っていますし、オープンにして、他の地区の子ども達も含めて活動を継続していただけるということであれば、大変ありがたいと思います。皆様もお聞きになっているかと思うのですが、中学校の部活動が少しずつ形を変えていくという報道がなされています。まずは、土日の活動について学校だけでやるのではなく、地域あるいは競技団体のお力を借りながら子ども達が活動するという形に少しずつ移行していくということで、まだ具体的なところが見えてこないなので、今年度は検討委員会を立ち上げて、様々な団体、スポーツ少年団活動を支えていただいている方々、学校関係者といった方々とどんな形ができるのかなという話を始めていこうと思っております。塩井のファイヤーアスリートクラブについては、学校だけではない子ども達の活動を支えていただいているということから、この先、地域と子ども達をどんな形でつないでいけるかといったところについてお話をさ

せていただけたらと思っております。

(会 長) 塩井ファイヤーアスリートクラブへのお褒めの言葉やいろいろなお話がありました。昨日もここでアスリートクラブの運営委員会があり、最後に委員の皆さんから3校統合になった後どうなるのかといった質問を受けました。結論から言って塩井ファイヤーアスリートクラブはそのまま独自で存続すると決まりましたし、OBの指導者の方からもぜひそういう形で進めて欲しいという言葉がありましたので、その形は未来永劫、続く限り、頑張っていくと思います。現在、他の地区の小学校からも、南原小学校から3名、上郷小学校から1名、過去には六郷小学校から2名といった参加がありました。新年度に向けて他の学校からも問い合わせありましたので、その辺は従来どおり、仲間としてやっていく方針で変わりありませんので、皆さん、これからもよろしくお願いします。その他ございませんか。

(委 員) 今日が初めての参加なことから、全体の流れについては、過日送っていただいた前回の会議録を見てきました。確認ですが、今私たちが集まっているこの地元代表者協議会というのは、今年の2月に発足されたわけですが、これは3地区にそれぞれ今あって、この会の役割は、今いろいろなお話が出ていますように、統合に関する地元の意見の取りまとめ、いわゆる意見書の取りまとめとだと思います。それで、改めてスケジュールを見てみると、7月には統合準備委員会というものができる。これは3地区がまとまって、それぞれの地区から出られたメンバーの方によって構成されるということは、この地元代表者協議会は、6月いっぱいまでの組織ということの理解でよろしいのでしょうか。それとも、別に統合準備委員会ができるものなのかよくわからなかったところです。前回にお話があったのかもしれませんが、いろいろな課題の内容等については、統合準備委員会ができれば、分野別の部会を設置して、例えば、校歌はどうする校章はどうするといった諸々のことについて検討していくということで、この会は6月までで7月からは、3地区合同の統合準備委員会ということで、改めて課題の抽出をやって、実際の統合に向けた具体的取りまとめをしていくという理解でよろしかったでしょうか。

(事務局) この地元代表者協議会のスケジュールとしては、大体6月頃までで終了できればという目安として書かせていただいております。ただ、実際に会議を開催し、様々なご意見を出していただきながらご意見が出尽くすところまで続けていただきたいと考えておりますので、7月までに必ずということではありません。また、その後の統合準備委員会については、あくまでも地元代表者協議会から意見書をいただき、協議会としての活動が終了した後に立ち上げることになります。地元代表者協議会をしている途中で7月になったので統合準備委員会を始めるということはいたしません。各校区の協議会からご意見をいただいて、統合準備委員会ではそれらをふまえて様々な検討をしていきたいと考えています。各校区それぞれのお気持ち等があることを前提に、細かな検討作業をしていただくことを想定してい

るところです。ただ、できれば、遅くとも7月か8月頃までには、各校区の地元代表者協議会からの意見書を頂戴できればとは考えております。3地区の足並みがそろったところでないと統合準備委員会を立ち上げられないので、各校区の協議がどのように進んでいるかといったところは事務局でしっかりと見守らせていただきたいと思います。

(会 長) その他ございませんか。

(委 員) 今、小学校6年生なので、実際には統合小学校の統合の話になっても具体的なことをイメージできないしどこかで関係ないかなと思ってしまうところもあります。できれば、本当に統合の時に小学校にいる子ども達の保護者の意見をもっと吸い上げられるようなシステムがあったらいいのではないかと思います。多分今までもあったとは思いますが。来週の授業参観の後に学級懇談会などがあると思うので、そこで担任の先生とかにお話を出していただいて、お母さん、お父さんと話すと、こういうことも気になるよね、こういうふうなことが心配だよねっていうようにもっと具体的な意見が出されるのではないかなと思いました。お手数ですが、授業参観の後にそんな意見を聞ける機会を作っていただけるといいのかなと思いました。

(事務局) 先ほど情報発信というお話しをさせていただきましたが、やはり保護者の皆様の不安というのもあると思いますので、情報については、今、現時点でここまで決まっていますといったところを出させていただきたいなと考えております。例えば、毎年、新入生が入学された際に、新入生の保護者の皆様を対象に機会をとらえて統合に関わる情報を提供させていただくことも必要ではないかと考えておりましたので、学校と調整をさせていただいた上で実施させていただければと思います。

(会 長) 次に、「その他」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 他に質問はいかがか。無ければ以上で協議終了とする。御協力ありがとうございました。